

希少価値が高い高級野菜

サボイキャベツ収穫スタート



J Aあいち尾東（代表理事組合長：市川耕一）の尾張旭地域で、サボイキャベツの収穫を迎えています。サボイキャベツは、今年度から尾張旭地域で積極的に栽培している野菜です。今年度は、17人の生産者が栽培に取り組み、約2,000本作付けしました。現在、当J Aの産直施設である尾張旭グリーンセンターや地域の各インショップで販売しています。来年度は、作付け量を増やし、学校給食へ出荷することを目標としています。

サボイキャベツとは？

サボイキャベツは、ヨーロッパで親しまれている野菜で、ちりめんキャベツとも呼ばれています。日本ではあまり流通していないため、高級野菜とされています。一般的なキャベツに比べて、繊維が硬く苦みがありますが、火を通すことで甘みが増し、煮崩れもしにくいです。そのため、サラダなどの生食よりもロールキャベツやポトフなどの煮込み料理に適しています。



栽培方法は一般的なキャベツと変わりませんが、初めて栽培する生産者が多いため、当J Aの職員が定期的に畑を巡回し、生育状況を確認しています。猛暑の影響による水不足で枯れてしまったり、害虫の被害にあったり、今年度はキャベツにとって過酷な環境での栽培でしたが、栽培に成功した生産者の畑では、2kg近くになる立派なサボイキャベツの収穫を迎えています。



取材は都度受け付けます。取材にお越しいただく際にはご一報ください。

取材日：収穫時期の12月～1月末まで取材を受け付けております。

収穫・出荷（袋詰め）の様子を取材いただけます。

場所：生産者の畑

〈問い合わせ先〉J Aあいち尾東 総務企画部 総合企画課（担当：新家・濱西）

T E L : 0561-56-0080 F A X : 0561-72-8151 E - mail: kikaku@jaab.or.jp